

(2) 海生生物

1) 海生植物

① 植物プランクトン

a. 現地調査

i. 調査概要

計画地及びその周辺の植物プランクトンの生息状況を把握するため、現地調査を実施した。調査概要は表 2-9-12 に、調査地点は図 2-9-8 に示すとおりである。

表 2-9-12 植物プランクトン調査の実施状況

調査項目	植物プランクトン調査
調査時期	冬季：令和 2 年 1 月 30 日 春季：令和 2 年 4 月 21 日 夏季：令和 2 年 8 月 2 日 秋季：令和 2 年 10 月 3 日
調査地点	St. 1、St. 2、St. 3、St. 4
調査方法	バンドーン採水器を用いて、3 点の表層(水面下 0.5m)で採集。採集試料は 2%ホルマリンで固定後、分析室で分析(種の同定・計測・沈殿量)。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

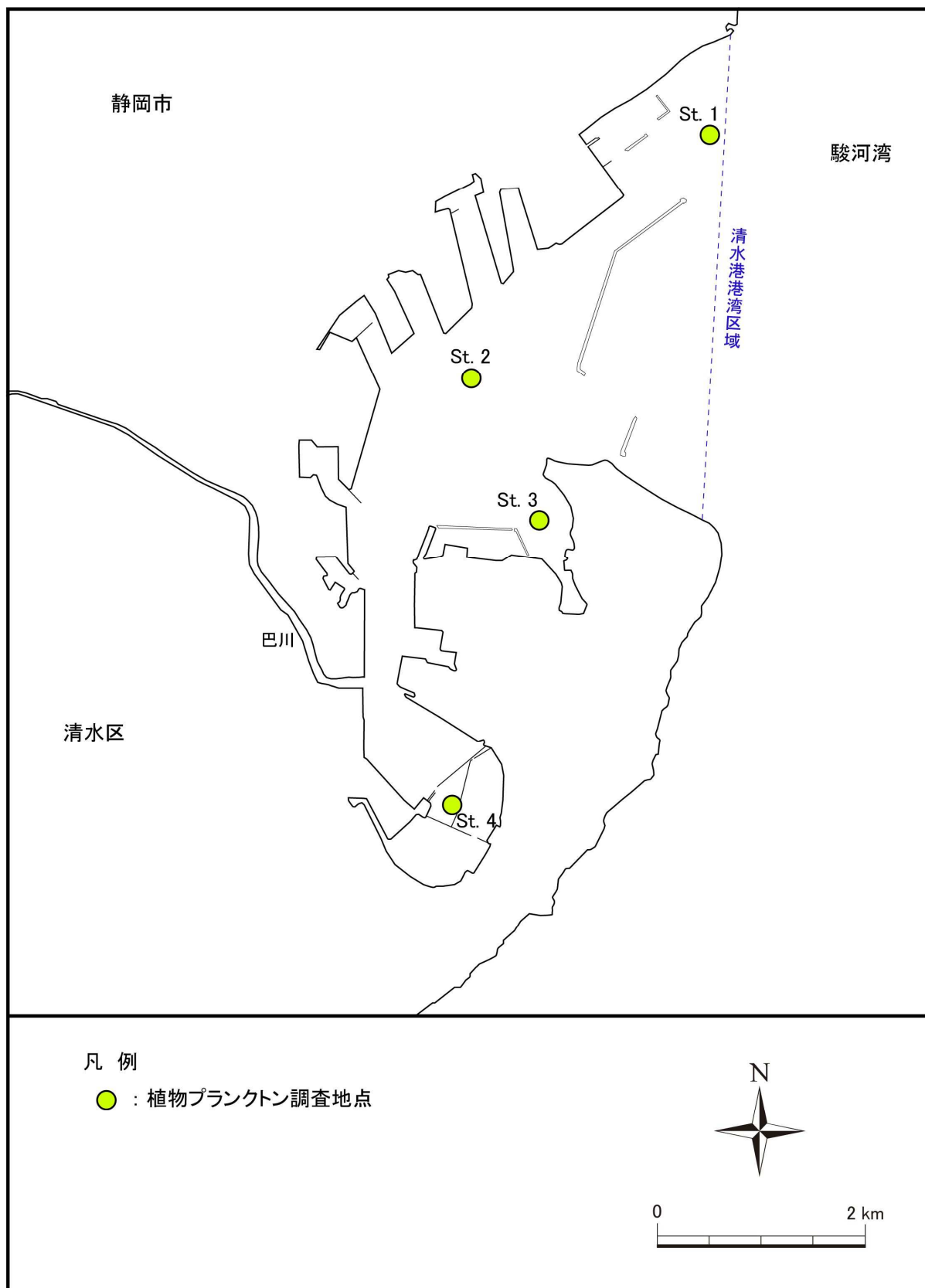


図 2-9-8 植物プランクトン調査地点図

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

ii. 調査結果

植物プランクトンの出現状況は、表 2-9-13 に示すとおりである。なお、重要種及び外来種については確認されなかった。

表 2-9-13(1) 植物プランクトン出現状況 (冬季)

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		14	12	18	19
平均出現細胞数 (細胞/L)	クリプト藻類	4,800	1,200	2,400	86,400
	渦鞭毛藻類	2,900	1,200	2,700	25,200
	黄金色藻類	0	0	30,000	278,400
	ラフィド藻類	1,200	1,200	7,200	38,400
	珪藻類	15,600	7,300	51,300	77,700
	ハプト藻類	4,800	6,000	0	0
	ユーグレナ藻類	600	600	600	10,800
	ブラシノ藻類	16,800	8,400	3,600	355,200
	その他	15,600	15,600	43,200	1,334,400
合計		62,300	41,500	141,000	2,206,500
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	ブ:Prasinophyceae (27.0)	他:Microflagellata (37.6)	他:Microflagellata (30.6)	他:Microflagellata (60.5)	
	他:Microflagellata (25.0)	ブ:Prasinophyceae (20.2)	珪:Skeletonema sp. (25.5)	ブ:Prasinophyceae (16.1)	
	珪:Skeletonema sp. (15.4)	ハ:Haptophyceae (14.5)	黄:Apedinella spinifera (21.3)	黄:Apedinella spinifera (12.6)	

(備考) ブ:プランノ藻綱、珪:珪藻類、ハ:ハプト藻類、黄:黄金色藻綱、他:その他

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-13(2) 植物プランクトン出現状況 (春季)

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		21	25	22	22
平均出現細胞数 (細胞/L)	クリプト藻類	3,600	8,400	864,000	1,296,000
	渦鞭毛藻類	74,000	112,400	28,400	139,300
	黄金色藻類	0	0	2,400	0
	珪藻類	744,000	5,396,000	3,147,600	12,231,600
	ハプト藻類	0	0	2,400	0
	ユーグレナ藻類	14,400	15,600	19,200	14,400
	ブラシノ藻類	0	0	96,000	57,600
	その他	4,800	19,200	134,400	124,800
	合計		840,800	5,551,600	4,294,400
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	珪:Skeletonema sp. (78.8)	珪:Skeletonema sp. (92.9)	珪:Skeletonema sp. (70.8)	珪:Skeletonema sp. (71.5)	
	渦:Alexandrium spp. (4.6)	珪:Cerataulina pelagica (2.2)	ク:Cryptomonadales (20.1)	珪:Cerataulina pelagica (15.7)	
	珪:Cerataulina pelagica (4.3)	渦:Alexandrium spp. (1.0)	他:Microflagellata (3.1)	ク:Cryptomonadales (9.3)	

(備考) 珪:珪藻類、渦:渦鞭毛藻類、ク:クリプト藻類、他:その他

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-13(3) 植物プランクトン出現状況 (夏季)

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		21	22	18	20
平均出現細胞数 (細胞/L)	クリプト藻類	14,400	151,200	39,600	86,400
	渦鞭毛藻類	14,400	23,400	22,800	329,000
	珪藻類	5,790,000	6,753,600	5,874,000	20,378,600
	ユーグレナ藻類	0	1,800	0	115,200
	ブラシノ藻類	10,800	331,200	25,200	67,200
	その他	100,800	50,400	21,600	3,196,800
合計		5,930,400	7,311,600	5,983,200	24,173,200
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	珪: <i>Chaetoceros curvisetus</i> (86.9)	珪: <i>Chaetoceros curvisetus</i> (82.3)	珪: <i>Chaetoceros curvisetus</i> (85.7)	珪: <i>Thalassiosiraceae</i> (54.8)	
	珪: <i>Chaetoceros</i> spp. (7.8)	ブ: <i>Prasinophyceae</i> (4.5)	珪: <i>Cyclotella</i> sp. (5.5)	珪: <i>Cyclotella</i> sp. (20.2)	
	他: <i>Microflagellata</i> (1.7)	珪: <i>Chaetoceros</i> spp. (4.1)	珪: <i>Chaetoceros</i> spp. (2.2)	他: <i>Microflagellata</i> (13.2)	

(備考) 珪:珪藻類、ブ:ブラシノ藻綱、他:その他

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-13(4) 植物プランクトン出現状況 (秋季)

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		25	30	28	28
平均出現細胞数 (細胞/L)	クリプト藻綱	38,400	24,000	14,400	129,600
	渦鞭毛藻綱	32,400	94,800	31,200	78,000
	珪藻綱	1,948,800	5,232,000	4,438,800	9,114,000
	ユーグレナ藻綱	2,400	24,000	50,400	57,600
	ブラシノ藻綱	0	9,600	2,400	28,800
	その他	43,200	19,200	4,800	331,200
合計		2,065,200	5,403,600	4,542,000	9,739,200
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	珪: <i>Bacteriastrum</i> spp. (44.2)	珪: <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. (52.9)	珪: <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. (39.9)	珪: <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. (43.2)	
	珪: <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. (27.9)	珪: <i>Asterionellopsis glacialis</i> (17.5)	珪: <i>Asterionellopsis glacialis</i> (22.4)	珪: <i>Asterionellopsis glacialis</i> (17.7)	
	珪: <i>Chaetoceros</i> spp. (5.8)	珪: <i>Bacteriastrum</i> spp. (8.2)	珪: <i>Bacteriastrum</i> spp. (10.6)	珪: <i>Dactyliosolen fragilissimus</i> (8.7)	

(備考) 珪:珪藻類

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

② 潮間帯付着生物（植物）

a. 現地調査

i. 調査概要

計画地及びその周辺の潮間帯付着生物（植物）の生育状況を把握するため、現地調査を実施した。調査概要は表 2-9-14 に、調査地点は図 2-9-9 に示すとおりである。

表 2-9-14 潮間帯付着生物（植物）調査の実施状況

調査項目	潮間帯付着生物(植物)調査
調査時期	冬季：令和 2 年 1 月 31 日 春季：令和 2 年 4 月 22 日 ～ 23 日 夏季：令和 2 年 8 月 7 日 ～ 8 日 秋季：令和 2 年 10 月 1 日 ～ 2 日
調査地点	St. 5、St. 6、St. 7
調査方法	潮間帯付着生物の採集は、潮上帯・潮中帯・潮下帯の 3 箇所においてそれぞれ 0.25 m×0.25 m コドラート内に生息する生物をスクレーパーで採集した。採集の際、各水深が枠の中心を通るように枠取りを行った。採集試料は分析室で分析した(種の同定・計測等)。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

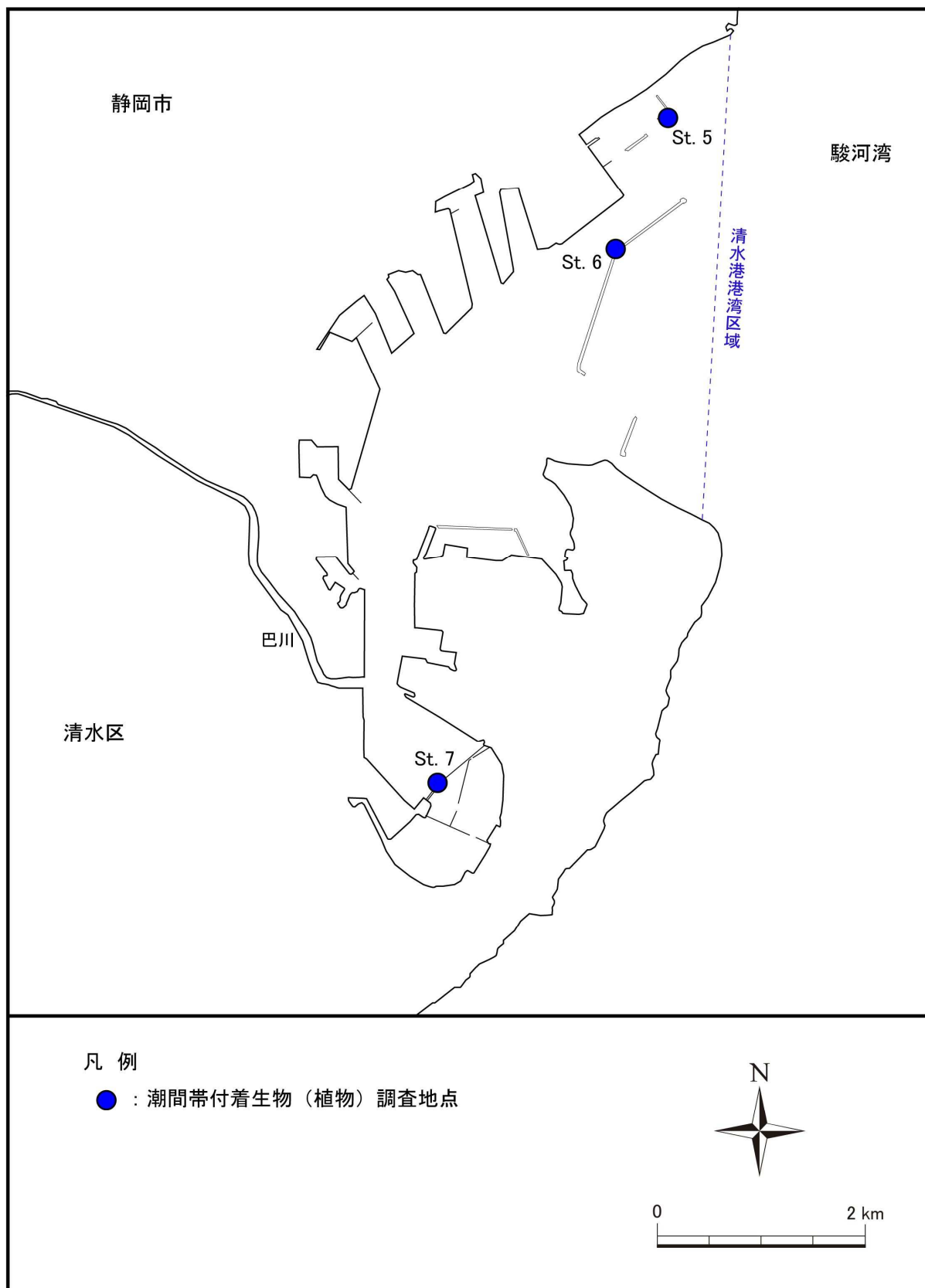


图 2-9-9 潮間帯付着生物 (植物) 調査地点图

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査 (生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

ii. 調査結果

潮間帯付着生物（植物）の出現状況は、表 2-9-15 に示すとおりである。なお、重要種及び外来種については確認されなかった。

表 2-9-15(1) 潮間帯付着生物（植物）出現状況（冬季）

調査地点	St. 5			St. 6			St. 7			
	上層	中層	下層	上層	中層	下層	上層	中層	下層	
出現種類数(種)	0	3	16	0	0	7	0	0	2	
平均湿重量 (g/m ²)	緑藻	0.00	0.80	3.20	0.00	0.00	1.12	0.00	0.00	0.80
	褐藻	0.00	2.88	605.92	0.00	0.00	2.24	0.00	0.00	0.00
	紅藻	0.00	0.00	113.60	0.00	0.00	+	0.00	0.00	0.00
	合計	0.00	3.68	722.72	0.00	0.00	3.36	0.00	0.00	0.80
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)		褐:フクロリ (47.8) 褐:ハバリ (30.4) 緑:シオグサ属 (21.7)	褐:イモク (42.2) 褐:フクロリ (41.5) 紅:エチゴカニ テ (15.0)			褐:フクロリ (66.7) 緑:ハイミル (23.8) 緑:ミル (9.5)			緑:アオサ属 (100.0) 緑:シオグサ属 (-)	

(備考) 緑:緑藻、褐:褐藻、紅藻:紅藻

注) “+” は、湿重量が0.01g未満であることを示す。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-15(2) 潮間帯付着生物（植物）出現状況（春季）

調査地点	St. 5			St. 6			St. 7			
	上層	中層	下層	上層	中層	下層	上層	中層	下層	
出現種類数(種)	0	7	14	0	4	6	0	1	3	
平均湿重量 (g/m ²)	緑藻	0.00	+	110.88	0.00	+	20.00	0.00	+	1.76
	褐藻	0.00	660.32	2,091.68	0.00	0.00	25.92	0.00	0.00	0.00
	紅藻	0.00	15.36	160.80	0.00	0.16	0.16	0.00	0.00	+
	合計	0.00	675.68	2,363.36	0.00	0.16	46.08	0.00	0.00	1.76
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)		褐:ハバリ (97.3) 紅:マクサ (2.3) 褐:フクロリ (0.4)	褐:ウシチヲ (41.0) 褐:イモク (27.9) 褐:アシグサ (16.4)		紅:アマリ属 (100.0) 緑:アオサ属 (-) 緑:シオグサ属 (-)	褐:フクロリ (56.3) 緑:ミル (37.8) 緑:アオサ属 (5.2)		緑:シオグサ属 (-)	緑:シオグサ属 (54.5) 緑:アオサ属 (45.5) 紅:フツツガサ ネ (-)	

(備考) 緑:緑藻、褐:褐藻、紅藻:紅藻

注) “+” は、湿重量が0.01g未満であることを示す。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-15(3) 潮間帯付着生物（植物）出現状況（夏季）

調査地点		St. 5			St. 6			St. 7		
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	上層	中層	下層
出現種類数(種)		0	4	10	0	2	3	0	0	1
平均湿重量 (g/m ²)	緑藻	0.00	0.00	0.48	0.00	0.16	1.92	0.00	0.00	+
	褐藻	0.00	0.00	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	紅藻	0.00	1.92	999.20	0.00	0.00	0.16	0.00	0.00	0.00
	合計	0.00	1.92	1,000.16	0.00	0.16	2.08	0.00	0.00	0.00
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)			紅:マサ (100.0) 紅:クモノヒメ ゴケ (-)	紅:エチコカニ テ (99.4) 紅:モサズキ属 (0.3) 紅:カニテ属 (0.1)		緑:シオグサ属 (100.0) 緑:アオサ属 (-)	緑:アオサ属 (84.6) 緑:シオグサ属 (7.7) 紅:イソダンツウ (7.7)			緑:シオグサ属 (-)

(備考) 緑:緑藻、紅藻:紅藻

注) “+” は、湿重量が0.01g未満であることを示す。

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-15(4) 潮間帯付着生物（植物）出現状況（秋季）

調査地点		St. 5			St. 6			St. 7		
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	上層	中層	下層
出現種類数(種)		0	2	12	0	4	5	0	0	3
平均湿重量 (g/m ²)	緑藻	0.00	0.00	0.32	0.00	1.60	+	0.00	0.00	1.76
	褐藻	0.00	0.00	0.48	0.00	0.00	0.32	0.00	0.00	0.00
	紅藻	0.00	0.48	5.76	0.00	0.16	+	0.00	0.00	+
	合計	0.00	0.48	6.56	0.00	1.76	0.32	0.00	0.00	1.76
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)			紅:テンゲサ属 (100.0)	紅:エチコカニ テ (65.9) 紅:モサズキ属 (9.8) 紅:ヒラワツナギ ソウ (7.3)		緑:アオサ属 (90.9) 紅:イソダンツウ (9.1) 緑:アオサ属 (旧アオリ属) (-) 緑:シオグサ属 (-)	褐:クロガシラ 属 (100.0) 緑:シオグサ属 (-) 紅:キヌイトグサ 属 (-) 紅:イギス属 (-)			緑:アオサ属 (72.7) 緑:シオグサ属 (27.3) 紅:イギス科 (-)

(備考) 緑:緑藻、褐:褐藻、紅藻:紅藻

注) “+” は、湿重量が0.01g未満であることを示す。

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

2) 海生動物

① 動物プランクトン

a. 現地調査

i. 調査概要

計画地及びその周辺の動物プランクトンの生息状況を把握するため、現地調査を実施した。調査概要は表 2-9-16 に、調査地点は図 2-9-10 に示すとおりである。

表 2-9-16 動物プランクトン調査の実施状況

調査項目	動物プランクトン調査
調査時期	冬季：令和 2 年 1 月 30 日 春季：令和 2 年 4 月 21 日 夏季：令和 2 年 8 月 2 日 秋季：令和 2 年 10 月 3 日
調査地点	St. 1、St. 2、St. 3、St. 4
調査方法	北原式動物プランクトンネットを用いて、鉛直曳き(1 回)により採集。採集試料は 5%ホルマリンで固定後、分析室で分析(種の同定・計測・沈殿量)。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

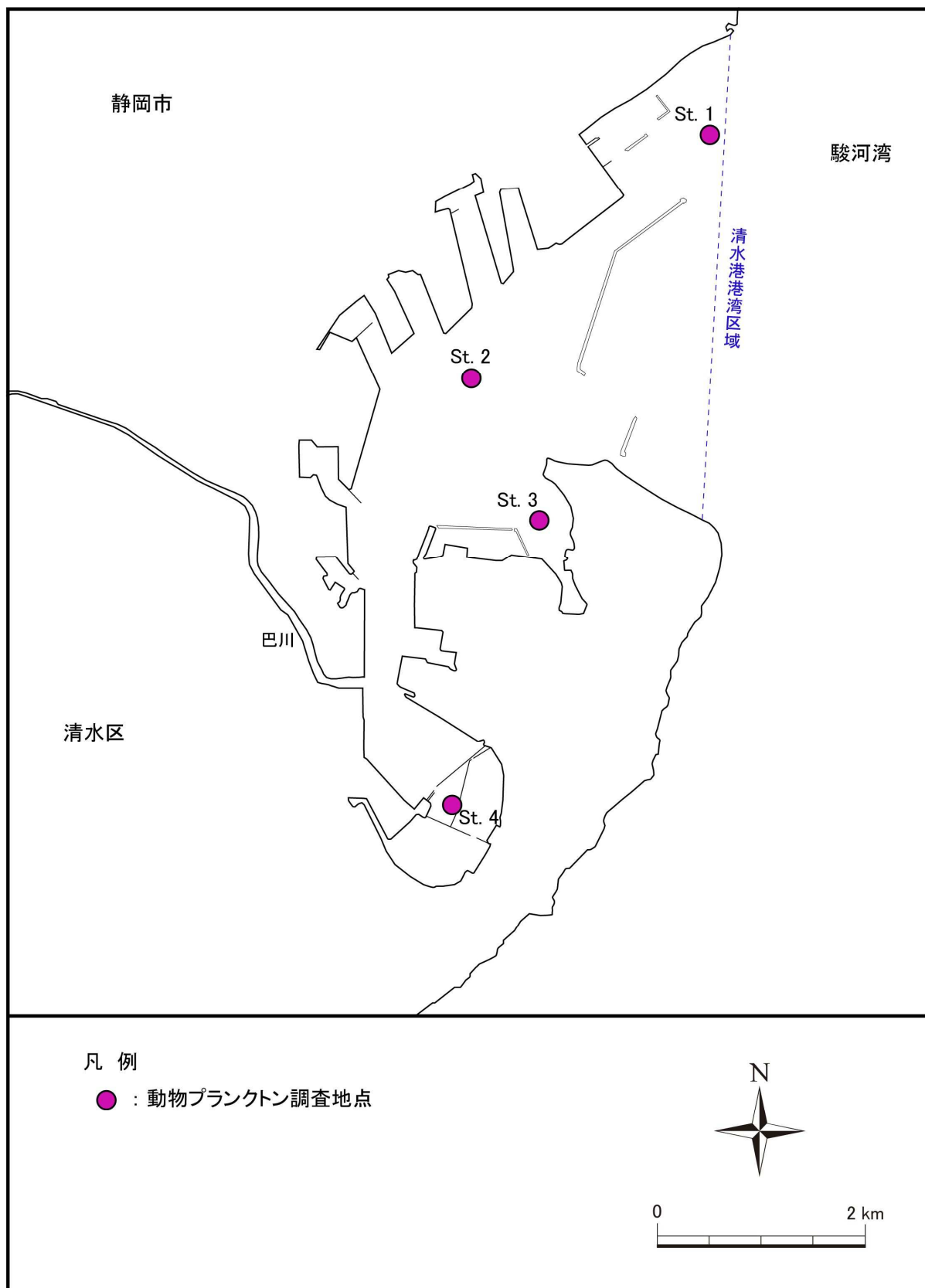


図 2-9-10 動物プランクトン調査地点図

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

ii. 調査結果

動物プランクトンの出現状況は、表 2-9-17 に示すとおりである。なお、重要種及び外来種については確認されなかった。

表 2-9-17(1) 動物プランクトン出現状況（冬季）

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		17	16	20	12
平均出現個体数 (個体/m ³)	肉質鞭毛虫	661	490	364	0
	繊毛虫	25,150	12,512	10,387	9,655
	刺胞動物	0	0	0	224
	輪形動物	0	0	182	0
	軟体動物	220	0	182	224
	環形動物	441	0	364	224
	節足動物	15,436	13,366	31,706	22,228
	脊索動物	220	367	364	0
合計		42,128	26,735	43,549	32,555
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	繊: <i>Stenosemella ventricosa</i> (32.5)	繊: <i>Codonellopsis morchella</i> (39.5)	節:Copepoda (nauplius larva) (44.8)	節:Copepoda (nauplius larva) (29.0)	
	繊: <i>Codonellopsis morchella</i> (27.2)	節:Copepoda (nauplius larva) (29.8)	繊: <i>Stenosemella ventricosa</i> (16.7)	繊: <i>Stenosemella ventricosa</i> (24.8)	
	節:Copepoda (nauplius larva) (22.0)	節:Paracalanidae (copepodid) (9.6)	節:Oithonidae (copepodid) (10.5)	節:Oithonidae (copepodid) (17.9)	

(備考) 繊:繊毛虫、節:節足動物

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-17(2) 動物プランクトン出現状況（春季）

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		26	25	19	22
平均出現個体数 (個体/m ³)	肉質鞭毛虫	685	794	0	0
	繊毛虫	24,001	15,087	10,972	272,535
	軟体動物	1,371	1,588	1,828	14,632
	環形動物	685	397	457	4,572
	節足動物	137,862	71,874	34,978	281,680
	脊索動物	6,170	3,176	914	7,316
合計		170,774	92,916	49,149	580,735
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	節:Copepoda (nauplius larva) (52.6)	節:Copepoda (nauplius larva) (58.6)	節:Copepoda (nauplius larva) (41.9)	繊: <i>Favella tarakaensis</i> (29.0)	
	節:Paracalanidae (copepodid) (11.2)	節:Paracalanidae (copepodid) (7.3)	節: <i>Oithona davisae</i> (14.0)	節:Copepoda (nauplius larva) (28.7)	
	節: <i>Acartia</i> sp. (copepodid) (9.2)	繊: <i>Favella tarakaensis</i> (6.4)	節:Oithonidae (copepodid) (11.2)	節: <i>Oithona davisae</i> (11.3)	

(備考) 節:節足動物、繊:繊毛虫

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-17(3) 動物プランクトン出現状況 (夏季)

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		22	25	24	22
平均出現個体数 (個体/m ³)	肉質鞭毛虫	0	0	2,350	0
	繊毛虫	195,903	241,485	296,159	1,011,145
	輪形動物	0	2,225	7,051	0
	軟体動物	5,294	1,668	2,350	46,194
	環形動物	1,323	556	2,350	5,132
	節足動物	120,454	55,636	171,585	546,632
	毛顎動物	0	0	0	5,132
	脊索動物	2,647	556	0	25,662
合計		325,621	302,126	481,845	1,639,897
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	繊: <i>Tintinnopsis beroidea</i> (27.6)	繊: <i>Tintinnopsis beroidea</i> (72.2)	繊: <i>Tintinnopsis beroidea</i> (45.4)	繊: <i>Tintinnopsis beroidea</i> (37.9)	
	節:Copepoda (nauplius larva) (24.4)	節:Copepoda (nauplius larva) (10.7)	節:Copepoda (nauplius larva) (20.5)	節:Copepoda (nauplius larva) (19.1)	
	繊: <i>Tintinnopsis aperta</i> (16.3)	繊: <i>Tintinnopsis aperta</i> (3.7)	繊: <i>Tintinnopsis aperta</i> (8.3)	繊: <i>Tintinnopsis aperta</i> (13.5)	

(備考) 節:節足動物、繊:繊毛虫

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-17(4) 動物プランクトン出現状況 (秋季)

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		26	23	27	21
平均出現個体数 (個体/m ³)	肉質鞭毛虫門	0	3,309	2,394	0
	繊毛虫門	66,909	26,472	10,376	18,162
	輪形動物門	11,536	3,309	0	5,588
	軟体動物門	16,150	3,309	7,184	37,724
	環形動物門	0	1,103	3,193	8,383
	節足動物門	108,444	45,225	48,697	118,761
	毛顎動物門	0	0	0	2,794
	脊索動物門	23,073	5,515	798	6,985
	その他	0	0	798	1,397
合計		226,112	88,242	73,440	199,794
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	節:Copepoda (nauplius larva) (24.5)	節:Copepoda (nauplius larva) (33.8)	節:Copepoda (nauplius larva) (31.5)	節:Copepoda (nauplius larva) (32.9)	
	節:Paracalanidae (copepodid) (10.2)	繊: <i>Tintinnopsis</i> sp. (11.2)	節:Paracalanidae (copepodid) (14.1)	軟:Bivalvia(D larva) (16.8)	
	脊: <i>Oikopleura</i> sp. (8.2)	節:Paracalanidae (copepodid) (7.5)	軟:Bivalvia(D larva) (7.6)	節:Oithonidae (copepodid) (7.7)	

(備考) 節:節足動物、繊:繊毛虫、軟:軟体動物、脊:脊索動物

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

② 魚卵・稚仔魚

a. 現地調査

i. 調査概要

計画地及びその周辺の魚卵・稚仔魚の生息状況を把握するため、現地調査を実施した。調査概要は表 2-9-18 に、調査地点は図 2-9-11 に示すとおりである。

表 2-9-18 魚卵・稚仔魚調査の実施状況

調査項目	魚卵・稚仔魚調査
調査時期	冬季：令和 2 年 1 月 30 日 春季：令和 2 年 4 月 21 日 夏季：令和 2 年 8 月 2 日 秋季：令和 2 年 10 月 3 日
調査地点	St. 1、St. 2、St. 3、St. 4
調査方法	丸型稚魚ネットを用いて、船舶によって約 2 ノットの速度で約 5 分間(300m)曳航し採集。採集試料は 5%ホルマリンで固定後、分析室で分析(種の同定・計測・沈殿量)。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

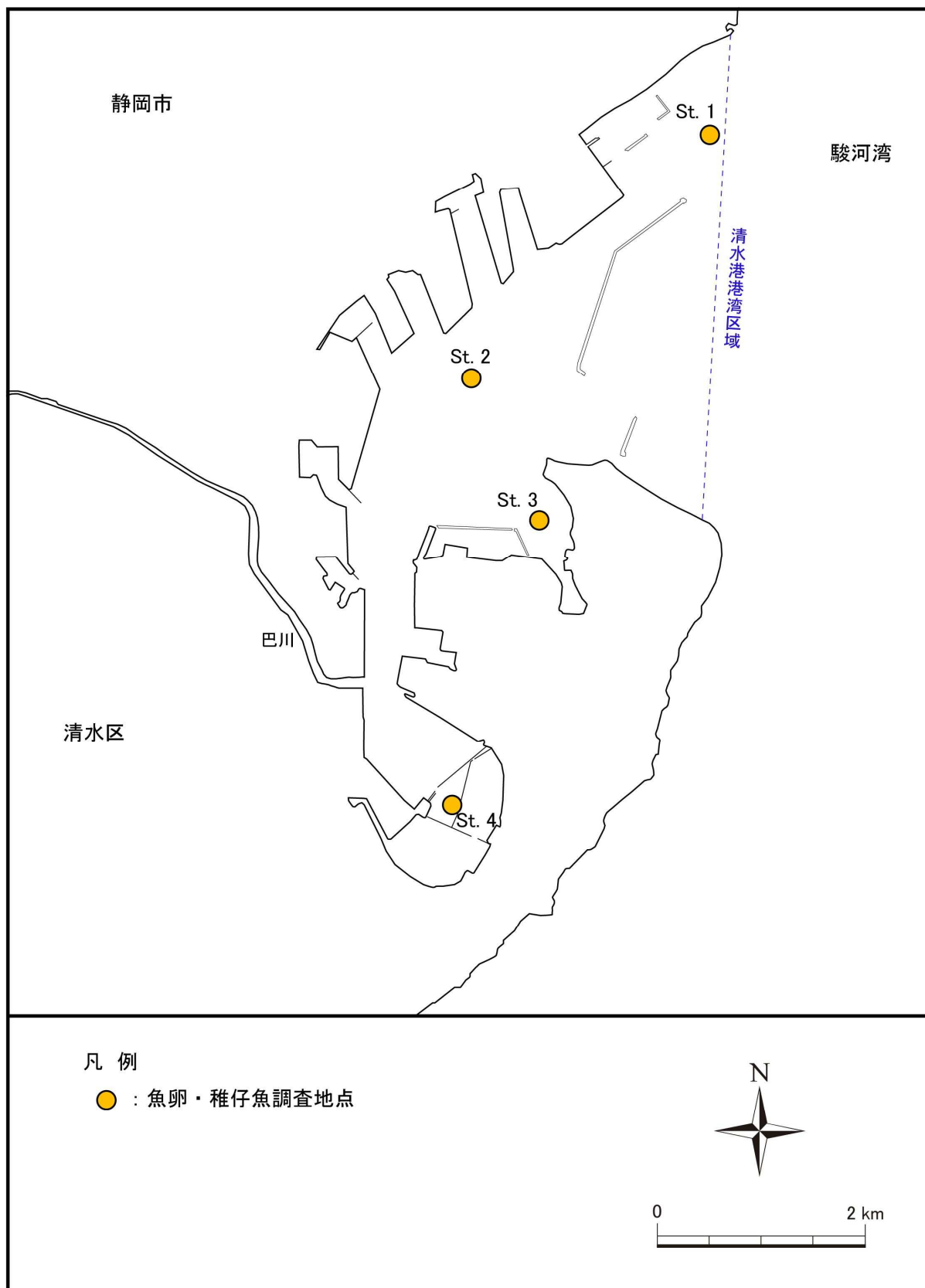


図 2-9-11 魚卵・稚仔魚調査地点図

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

ii. 調査結果

魚卵の出現状況は表 2-9-19 に、稚仔魚の出現状況は表 2-9-20 に示すとおりである。
 なお、重要種及び外来種については確認されなかった。

表 2-9-19(1) 魚卵出現状況 (冬季)

					単位:個/1,000m ³			
No.	目	科	学名	和名	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
1	スズキ	ネズッコ	<i>Callionymidae</i>	ネズッコ科		5		
2	-	-	-	無脂球形卵①				2
3	-	-	-	単脂球形卵①	19	5	3	
4	-	-	-	単脂球形卵②	32	29	42	8
5	-	-	-	単脂球形卵③	307	560	492	2,920
6	-	-	-	単脂球形卵④	19	23		
7	-	-	-	単脂球形卵⑤			3	
種類数					4	5	4	3
個数					377	622	540	2,930

種類名	特徴			
	卵径(mm)	油球径(mm)	油球数	備考
ネズッコ科	0.71~0.75	-	0	卵膜に亀甲模様有り
無脂球形卵①	0.86	-	0	
単脂球形卵①	0.65~0.75	0.11~0.15	1	
単脂球形卵②	0.77~0.83	0.14~0.18	1	
単脂球形卵③	0.85~0.95	0.17~0.20	1	
単脂球形卵④	1.14~1.25	0.22~0.26	1	
単脂球形卵⑤	1.34	0.37	1	

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-19(2) 魚卵出現状況 (春季)

					単位:個/1,000m ³			
No.	目	科	学名	和名	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
1	ニシン	ニシン	<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ	17	517	682	29
2	-	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイワシ	150	7,234	14,771	287
3	スズキ	ネズッコ	<i>Callionymidae</i>	ネズッコ科	67	310	757	83
4	-	-	-	単脂球形卵①	17	21	26	5
5	-	-	-	単脂球形卵②	312	2,647	2,337	397
6	-	-	-	単脂球形卵③	17	60	139	
種類数					6	6	6	5
個数					580	10,789	18,712	801

種類名	特徴			
	卵径(mm)	油球径(mm)	油球数	備考
ネズッコ科	0.62~0.69	-	0	卵膜に亀甲模様有り
単脂球形卵①	0.65~0.75	0.14~0.17	1	
単脂球形卵②	0.82~0.92	0.20~0.22	1	
単脂球形卵③	0.94~1.00	0.20~0.22	1	

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-19(3) 魚卵出現状況 (夏季)

単位:個/1,000m³

No.	目	科	学名	和名	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
1	ニシン	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイワシ	27	3,838	1,947	1,242
2	ヒメ	エソ	<i>Synodontidae</i>	エソ科			10	
3	-	-	-	単脂球形卵①	3	13,280	33,531	3,384
4	-	-	-	単脂球形卵②	176	53,270	156,853	703
5	-	-	-	単脂球形卵③	545	175	736	
6	-	-	-	単脂球形卵④	3	136	189	
7	-	-	-	多脂球形卵①		3		
種類数					5	6	6	3
個数					754	70,702	193,266	5,329

種類名	特徴			
	卵径 (mm)	油球径 (mm)	油球数	備考
エソ科	1.09~1.11	-	0	卵膜に亀甲模様有り
単脂球形卵①	0.60~0.67	0.13~0.17	1	
単脂球形卵②	0.70~0.76	0.14~0.20	1	
単脂球形卵③	0.77~0.83	0.17~0.23	1	
単脂球形卵④	0.89~0.92	0.17~0.20	1	
多脂球形卵①	0.91	0.06~0.09	13	

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-19(4) 魚卵出現状況 (秋季)

単位:個/1,000m³

No.	目	科	学名	和名	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
1	ウナギ	-	<i>Anguilliformes</i>	ウナギ目	9	50	10	
2	ニシン	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイワシ	416	2,964	1,490	10,875
3	ヒメ	エソ	<i>Synodontidae</i>	エソ科	117	31	332	
4	スズキ	ミシマオコゼ	<i>Uranoscopus japonicus</i>	ミシマオコゼ			15	
5	-	ネズッコ	<i>Callionymidae</i>	ネズッコ科	318	260	41	167
6	-	-	-	無脂球形卵①		264		
7	-	-	-	無脂球形卵②	68	4		
8	-	-	-	単脂球形卵①	951	963	3,105	523
9	-	-	-	単脂球形卵②	1,157	14,016	7,006	401
10	-	-	-	単脂球形卵③	29	685	633	
11	-	-	-	単脂球形卵④	9		1,158	
12	-	-	-	単脂球形卵⑤	4			
13	-	-	-	多脂球形卵①	9	4	41	
14	-	-	-	多脂球形卵②	9	13	41	
15	-	-	-	多脂球形卵③	4	86		
種類数					13	12	11	4
個数					3,100	19,340	13,872	11,966

種類名	特徴			
	卵径 (mm)	油球径 (mm)	油球数	備考
ウナギ目	3.50~4.30	-	0	
エソ科	1.05~1.15	-	0	卵膜に亀甲模様有り
ネズッコ科	0.62~0.69	-	0	卵膜に亀甲模様有り
無脂球形卵①	0.85~0.95	-	0	
無脂球形卵②	1.57~1.69	-	0	
単脂球形卵①	0.62~0.69	0.14~0.18	1	
単脂球形卵②	0.72~0.82	0.14~0.22	1	
単脂球形卵③	0.88~0.97	0.14~0.20	1	
単脂球形卵④	1.22~1.26	0.25~0.29	1	
単脂球形卵⑤	1.74	0.14	1	
多脂球形卵①	0.60~0.69	0.02~0.08	7~18	
多脂球形卵②	0.82~0.89	0.02~0.09	18~22	
多脂球形卵③	1.08~1.18	0.02~0.14	8~21	

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-20(1) 稚仔魚出現状況 (冬季)

単位: 個体/1,000m³

No.	目	科	学名	和名	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
1	ニシン	ニシン	<i>Sardinops melanostictus</i>	マイワシ				2
2	ハダカイワシ	ハダカイワシ	<i>Notoscopelus</i> sp.	オオクチイワシ属			3	13
3	ボラ	ボラ	<i>Chelon</i> sp.	メナダ属			3	
4	スズキ	メバル	<i>Sebastes</i> sp.	カサゴ属	168	223	778	1,043
5			<i>Sebastes pachycephalus</i>	ムラソイ			3	
6			<i>Sebastes</i> sp.	メバル属			42	10
7		タウエガジ	<i>Dictyosoma</i> sp.	ダイナンギンボ属				13
8		コケギンボ	Chaenopsidae	コケギンボ科			7	18
9		ハゼ	<i>Luciogobius</i> sp.	ミズハゼ属	5		7	97
10			Gobiidae	ハゼ科			7	29
11	-	-	Undivided larva	不明仔魚(卵黄囊期)		2		
種類数					2	2	8	8
個体数					173	225	850	1,225

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-20(2) 稚仔魚出現状況 (春季)

単位: 個体/1,000m³

No.	目	科	学名	和名	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
1	ニシン	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイワシ				2
2	スズキ	メバル	<i>Sebastes</i> sp.	カサゴ属			2	5
3		タイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ	2			
4		イソギンボ	Bleniidae	イソギンボ科	17	3	20	269
5		ハゼ	Gobiidae	ハゼ科		3	23	38
種類数					2	2	4	3
個体数					19	6	47	312

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-20(3) 稚仔魚出現状況 (夏季)

単位: 個体/1,000m³

No.	目	科	学名	和名	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
1	トゲウオ	ヤガラ	Fistulariidae	ヤガラ科		3		
2	スズキ	コチ	<i>Platycephalus</i> sp.	コチ属	3	3		
3		フエフキダイ	Lethrinidae	フエフキダイ科	3			
4		キス	<i>Sillago japonica</i>	シロギス	3	3		
5		シマイサキ	Teraponidae	シマイサキ科	11	15		
6		イソギンボ	Blenniidae	イソギンボ科	78	70	305	178
7		ネズッポ	Callionymidae	ネズッポ科	3			
8		ハゼ	Gobiidae	ハゼ科	11	15	21	5
9		タチウオ	Trichiuridae	タチウオ科		3		
種類数					7	7	2	2
個体数					112	112	326	183

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-20(4) 稚仔魚出現状況 (秋季)

単位: 個体/1,000m³

No.	目	科	学名	和名	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
1	ニシン	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイワシ			10	44
2	スズキ	テンジクダイ	Apogonidae	テンジクダイ科				11
3		イソギンボ	Blenniidae	イソギンボ科	44	886	342	150
4		ハゼ	Gobiidae	ハゼ科	34	114	690	89
5	-	-	Undivided larva	不明仔魚(卵黄囊期)	44	662	540	
種類数					3	3	4	4
個体数					122	1,662	1,582	294

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

③ 潮間帯付着生物（動物）

a. 現地調査

i. 調査概要

計画地及びその周辺の潮間帯付着生物（動物）の生息状況を把握するため、現地調査を実施した。調査概要は表 2-9-21 に、調査地点は図 2-9-12 に示すとおりである。

表 2-9-21 潮間帯付着生物（動物）調査の実施状況

調査項目	潮間帯付着生物(動物)調査
調査時期	冬季：令和 2 年 1 月 31 日 春季：令和 2 年 4 月 22 日 ～ 23 日 夏季：令和 2 年 8 月 7 日 ～ 8 日 秋季：令和 2 年 10 月 1 日 ～ 2 日
調査地点	St. 5、St. 6、St. 7
調査方法	潮間帯付着生物の採集は、潮上帯・潮中帯・潮下帯の 3 箇所においてそれぞれ 0.25 m×0.25 m コドラート内に生息する生物をスクレーパーで採集した。採集の際、各水深が枠の中心を通るように枠取りを行った。採集試料は分析室で分析した(種の同定・計測等)。

資料：「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

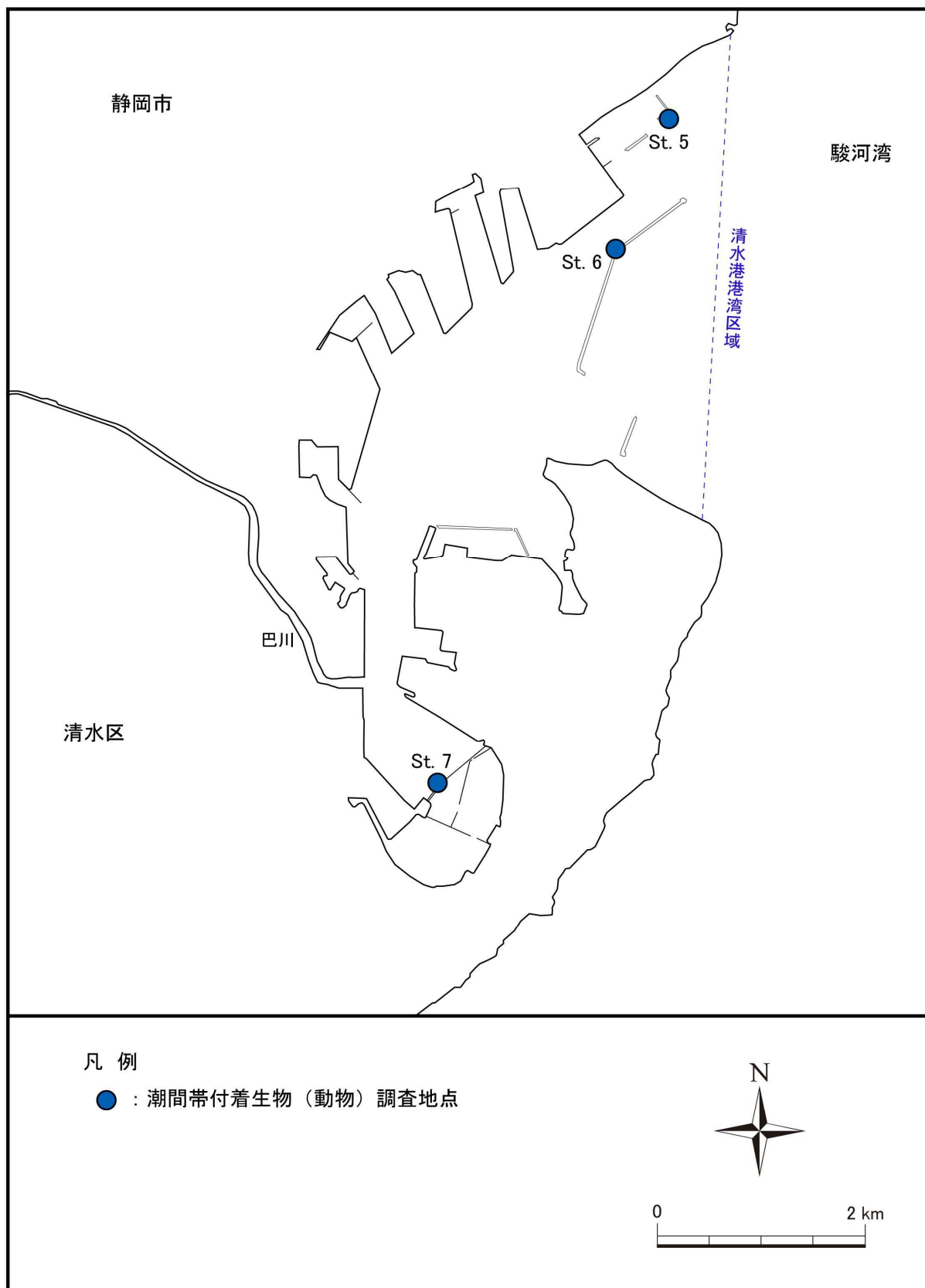


図 2-9-12 潮間帯付着生物 (動物) 調査地点図

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

ii. 調査結果

潮間帯付着生物（動物）の出現状況は表 2-9-22 に、外来種確認一覧は表 2-9-23 に示すとおりである。なお、重要種については確認されなかったが、外来種はムラサキイガイ、ミドリイガイ、コウロエンカワヒバリガイ、タテジマフジツボ、アメリカフジツボ、ヨーロッパフジツボの 6 種が確認された。

表 2-9-22(1) 潮間帯付着生物（動物）出現状況（冬季）

調査地点		St. 5			St. 6			St. 7		
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	上層	中層	下層
出現種類数(種)		1	35	51	1	29	57	1	14	30
平均出現 個体数 (個体)	海綿動物	0	-	-	0	-	-	0	0	-
	腔腸動物	0	0	32	0	0	0	0	0	-
	扁形動物	0	16	0	0	0	32	0	0	0
	紐形動物	0	64	96	0	128	32	0	0	0
	星口動物	0	0	192	0	0	288	0	0	0
	環形動物	0	592	592	0	2,656	1,136	0	0	208
	触手動物	0	0	0	0	0	-	0	0	-
	軟体動物	80	7,936	16,240	560	6,864	5,520	208	896	4,528
	節足動物	0	5,008	672	0	1,056	8,384	0	4,224	5,344
	棘皮動物	0	16	960	0	0	432	0	0	0
	原素動物	0	0	-	0	0	96	0	0	0
その他	0	0	-	0	0	0	0	0	0	
合計		80	13,632	18,784	560	10,704	15,920	208	5,120	10,080
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)		軟:アラレタマキ ビ (100.0)	節:イワフジツ ボ (32.0) 軟:マガキ (26.5) 軟:クログチ (14.8)	軟:ヒバリガイ モトキ (81.7) 棘:チビクモヒ テ (4.8) 軟:イシマテ (1.8)	軟:アラレタマキ ビ (100.0)	軟:マガキ (31.7) 環:Arabella sp. (22.0) 軟:チリハギカ イ (15.7)	軟:ヒバリガイ モトキ (29.5) 節:サンカクフジ ツボ (28.8) 節:アカフジツ ボ (7.0)	軟:アラレタマキ ビ (100.0)	節:タテジマフ ジツボ (35.9) 節:シロスジフ ジツボ (25.6) 軟:クログチ (10.6)	節:ドロクダム シ属 (28.9) 軟:クログチ (25.6) 軟:ホトキス (16.2)

(備考) 軟:軟体動物、節:節足動物、棘:棘皮動物、環:環形動物

注) “-” は、計数困難な群体性種の出現を示す。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-22(2) 潮間帯付着生物（動物）出現状況（春季）

調査地点	St. 5			St. 6			St. 7			
	上層	中層	下層	上層	中層	下層	上層	中層	下層	
出現種類数(種)	2	39	45	1	24	55	1	24	29	
平均出現 個体数 (個体)	海綿動物	0	-	-	0	0	-	0	0	-
	腔腸動物	0	64	16	0	80	32	0	-	-
	扁形動物	0	0	0	0	0	32	0	0	0
	紐形動物	0	0	0	0	64	16	0	16	0
	星口動物	0	0	208	0	0	176	0	0	0
	環形動物	0	352	2,208	0	1,712	560	0	96	240
	触手動物	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	軟体動物	144	1,232	11,088	752	3,072	2,640	80	6,256	3,968
	節足動物	400	1,424	1,152	0	448	5,792	0	9,840	10,848
	棘皮動物	0	32	848	0	0	912	0	0	0
	原索動物	0	0	16	0	0	112	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	-	0	-	0	
合計	544	3,104	15,536	752	5,376	10,272	80	16,208	15,056	
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	節:イワフジツボ (73.5) 軟:アラレタマキビ (26.5)	節:クロフジツボ (16.0) 軟:マガキ (13.9) 節:シリケンウミセミ (13.4)	軟:ヒバリガイモドキ (66.3) 環: <i>Dodecaceria</i> sp. (12.3) 棘:チビクモヒトデ (5.0)	軟:アラレタマキビ (100.0)	軟:マガキ (40.8) 環: <i>Arabella</i> sp. (29.2) 軟:チリハキガイ (6.5)	節:サンカクフジツボ (26.2) 軟:ヒバリガイモドキ (20.7) 節:アカフジツボ (12.9)	軟:アラレタマキビ (100.0)	節:タテジマフジツボ (24.9) 軟:クログチ (18.7) 節:シリケンウミセミ (16.6)	節:ドロクダムシ属 (28.3) 節:カマキリコエビ属 (17.1) 節:ヌタコエビ属 (15.6)	

(備考) 軟:軟体動物、節:節足動物、棘:棘皮動物、環:環形動物

注) “-” は、計数困難な群体系種の出現を示す。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-22(3) 潮間帯付着生物（動物）出現状況（夏季）

調査地点	St. 5			St. 6			St. 7		
	上層	中層	下層	上層	中層	下層	上層	中層	下層
出現種類数(種)	1	40	50	1	45	39	1	15	27
平均出現 個体数 (個体)	海綿動物	0	0	0	0	0	0	0	0
	腔腸動物	0	48	48	0	0	64	0	0
	扁形動物	0	0	16	0	48	0	0	16
	紐形動物	0	32	144	0	48	32	0	0
	星口動物	0	0	272	0	352	0	0	0
	環形動物	0	624	896	0	1,952	4,384	0	16
	触手動物	0	0	0	0	0	0	0	0
	軟体動物	80	2,880	13,824	144	1,568	5,248	64	1,584
	節足動物	0	4,432	352	0	11,616	2,992	0	27,264
	棘皮動物	0	0	288	0	320	0	0	0
	原索動物	0	0	32	0	96	32	0	16
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	80	8,016	15,872	144	16,000	12,752	64	28,864	
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	軟:アラレタマキビ (100.0)	節:イワフジツボ (28.1) 軟:マガキ (18.8) 節:クロフジツボ (9.4)	軟:ヒバリガイモドキ (74.1) 軟:ホトギス (9.2) 環: <i>Dodecaceria</i> sp. (2.0)	軟:アラレタマキビ (100.0)	節:サンカクフジツボ (53.2) 節:アカフジツボ (15.0) 環: <i>Dodecaceria</i> sp. (7.7)	環:キッコカンサシ (19.3) 軟:マガキ (17.9) 節:タテジマフジツボ (14.9)	軟:アラレタマキビ (100.0)	節:タテジマフジツボ (89.1) 軟:ヨロエンカワヒバリガイ (4.7) 節:モクスヨコエビ属 (2.3)	軟:ヨロエンカワヒバリガイ (74.5) 軟:ホトギス (4.7) 軟:ムラサキイガイ (3.3)

(備考) 軟:軟体動物、節:節足動物、環:環形動物

注) “-” は、計数困難な群体系種の出現を示す。

資料:「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系) 報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-22(4) 潮間帯付着生物（動物）出現状況（秋季）

調査地点	St. 5			St. 6			St. 7		
	上層	中層	下層	上層	中層	下層	上層	中層	下層
出現種類数(種)	1	27	43	1	35	46	1	17	42
平均出現 個体数 (個体)	海綿動物	0	0	0	0	0	0	0	0
	腔腸動物	0	0	0	0	0	0	0	0
	扁形動物	0	0	0	0	0	224	0	160
	紐形動物	0	0	96	0	16	0	0	80
	星口動物	0	0	208	0	0	288	0	0
	環形動物	0	560	944	0	544	1,744	0	560
	触手動物	0	0	0	0	0	-	0	0
	軟体動物	160	3,008	6,528	784	5,360	2,800	352	16,976
	節足動物	0	1,424	160	0	7,616	7,392	0	10,192
	棘皮動物	0	0	880	0	16	1,904	0	0
	原索動物	0	0	0	0	0	80	0	64
その他	0	0	16	0	0	0	0	16	
合計	160	4,992	8,832	784	13,552	14,432	352	13,888	28,032
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	軟:アラレタマキ ヒ (100.0)	軟:イタボガキ 科 (50.9) 軟:クロフシツ ボ (42.3) 環:コモレヒ'コカ モガイ (7.1)	軟:ヒバリガイ モトキ (68.5) 棘:チビクモヒ テ' (10.0)	軟:アラレタマキ ヒ (100.0)	節:タテジマフ シ'ツボ (29.8) 節:イワフシツ ボ (20.7) 軟:イタボガキ 科 (19.8)	節:サンカフジ ツボ (35.7) 軟:ヒバリガイ モトキ (13.2) 棘:チビクモヒ テ' (13.2)	軟:アラレタマキ ヒ (100.0)	節:タテジマフ シ'ツボ (58.1) 軟:クログチ シ'ツボ (25.0) 節:モクスヨコエ ビ'属 (6.5)	軟:クログチ ヒ (49.9) 節:タテジマフ シ'ツボ (12.8) 節:アリカフジ ツボ (12.4)

(備考) 軟:軟体動物、節:節足動物、棘:棘皮動物、環:環形動物

注) “-” は、計数困難な群体系種の出現を示す。

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-23 外来種確認一覧（潮間帯付着生物：動物）

No.	門名	綱名	目名	科名	種名		St. 5				St. 6				St. 7				外来種		
					和名	学名	冬 季	春 季	夏 季	秋 季	冬 季	春 季	夏 季	秋 季	冬 季	春 季	夏 季	秋 季	I	II	III
1	軟体動物	二枚貝	イガイ	イガイ	ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●		総合一他(外)	国外	
2					シドリイガイ	<i>Perna viridis</i>	●				●	●	●	●	●	●	●		総合一他(外)	国外	
3					ヨロエンガリヒバリガイ	<i>Limnoperna fortunei kikuchi</i>					●	●	●	●	●	●	●		総合一他(外)	国外	
4	節足動物	甲殻	完胸	フシツボ	タテシマフシツボ	<i>Balanus amphitrite</i>	●				●	●	●	●	●	●	●		総合一他(外)		
5					アヲカバフシツボ	<i>Balanus eburneus</i>					●	●	●	●	●	●	●		総合一他(外)	国外	
6					ヨーロッパフシツボ	<i>Balanus improvisus</i>					●	●	●	●	●	●	●		総合一他(外)	国外	
計	2門	2綱	2目	2科	6種	種数	3	1	1	0	5	3	4	4	5	6	6	5	0	1	1

注) 1. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

【外来種の選定基準】

I 「特定外来生物による生態系に係る被害の防止に関する法律」(平成 27 年、環境省)

特定・国外緊急: 特定外来生物・国外由来総合対策外来種(緊急対策外来種)、

特定・国外重点: 特定外来生物・国外由来総合対策外来種(重点対策外来種)、国外・その他: 国外総合その他対策

II 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)」(平成 27 年 環境省)

総合: 総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)

・一他: その他定着予防外来種

III 「外来種ハンドブック」(平成 14 年、地人書館)に掲載された外来種

国外: 国外移入

資料: 「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

④ 底生生物

a. 現地調査

i. 調査概要

計画地及びその周辺の底生生物の生息状況を把握するため、現地調査を実施した。調査概要は表 2-9-24 に、調査地点は図 2-9-13 に示すとおりである。

表 2-9-24 底生生物調査の実施状況

調査項目	底生生物調査
調査時期	冬季：令和 2 年 1 月 30 日 春季：令和 2 年 4 月 21 日 夏季：令和 2 年 8 月 2 日 秋季：令和 2 年 10 月 3 日
調査地点	St. 1、St. 2、St. 3、St. 4
調査方法	スミスマッキンタイヤ採泥器を用いて 3 回採泥し、総個体を 5%ホルマリンで固定後、分析室で分析(種の同定・計測・湿重量)。

資料：「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

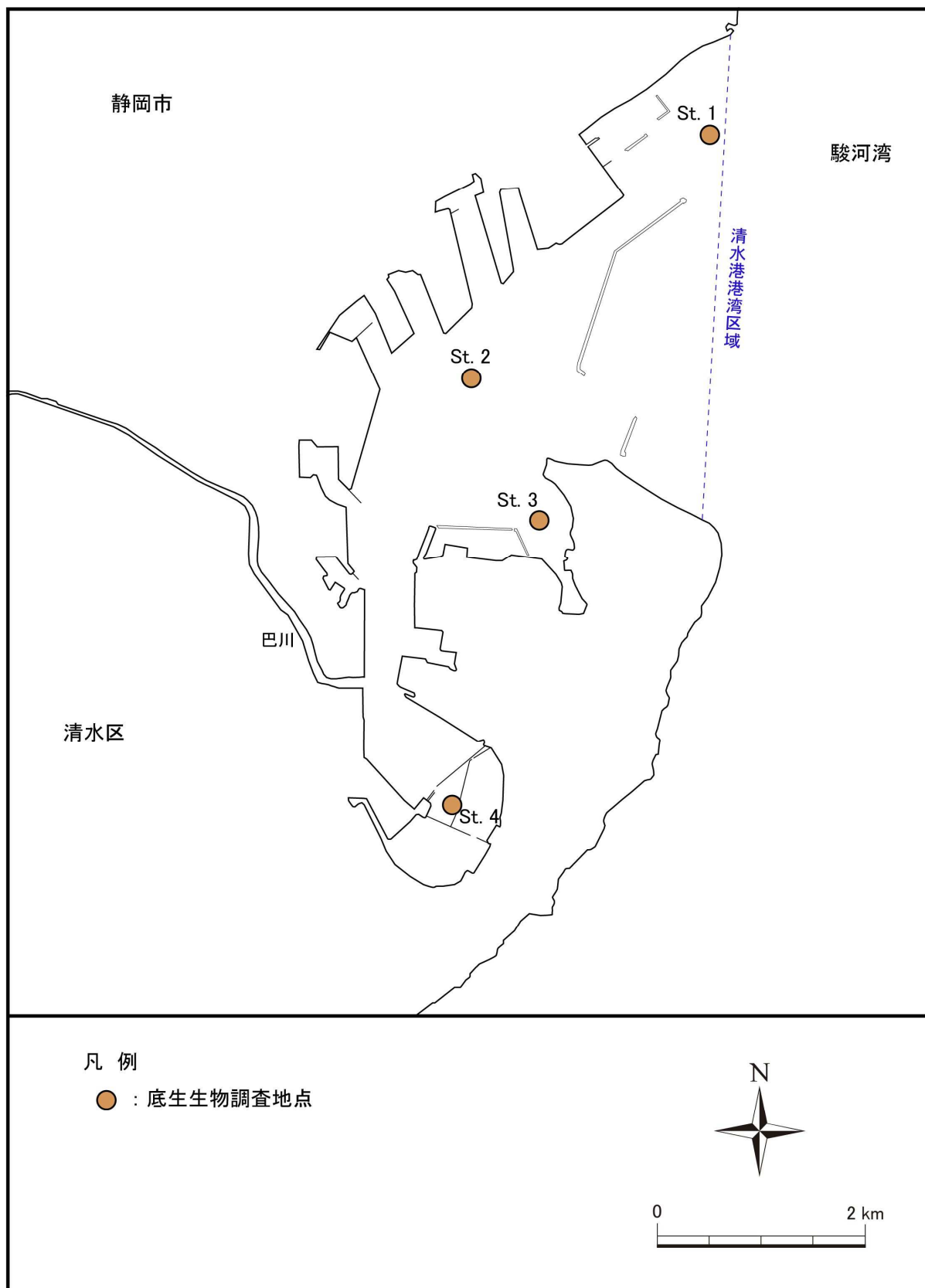


図 2-9-13 底生生物調査地点図

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

ii. 調査結果

底生生物の出現状況は表 2-9-25 に、重要種・外来種確認一覧は表 2-9-26 に示すとおりである。

本調査において確認された重要種は、ムシロガイ、ウズザクラガイ、モモノハナガイの 3 種、外来種はシマメノウフネガイの 1 種であった。

表 2-9-25(1) 底生生物出現状況 (冬季)

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		32	5	5	13
平均出現個体数 (個体/m ²)	紐形動物	0	10	0	0
	軟体動物	100	10	0	0
	星口動物	0	0	30	0
	環形動物	170	30	50	260
	節足動物	1,230	0	0	80
	棘皮動物	20	0	0	0
	合計	1,520	50	80	340
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	節: <i>Ampelisca naikaiensis</i> (55.9)	軟: <i>Arcopsis interplicata</i> (20.0)	星: <i>Apionsoma</i> sp. (37.5)	環: <i>Heteromastus</i> sp. (23.5)	
	節: <i>Ampelisca brevicornis</i> (9.2)	環: <i>Trochochaeta japonica</i> (20.0)	環: <i>Capitellidae</i> (25.0)	環: <i>Prionospio sexoculata</i> (14.7)	
	節: <i>Pareurysstheus amakusaensis</i> (3.9)	環: <i>Prionospio ehlersi</i> (20.0)	環: <i>Goniada japonica</i> (12.5)	節: <i>Caprella scaura</i> (14.7)	

(備考) 節:節足動物、軟:軟体動物、環:環形動物、星:星口動物

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-25(2) 底生生物出現状況 (春季)

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		37	30	8	9
平均出現個体数 (個体/m ²)	刺胞動物	10	0	0	0
	紐形動物	10	10	10	20
	軟体動物	50	320	40	90
	環形動物	170	810	250	90
	節足動物	2,440	310	0	0
	半索動物	10	0	0	0
	棘皮動物	20	40	10	0
	脊索動物	0	50	0	0
合計	2,710	1,540	310	200	
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	節: <i>Ampelisca naikaiensis</i> (63.8)	環: <i>Terebellides</i> sp. (19.5)	環: <i>Prionospio ehlersi</i> (25.8)	軟: <i>Crepidula onyx</i> (25.0)	
	節: <i>Synchelidium lenorostratum</i> (5.5)	節: <i>Protomima</i> sp. (18.2)	環: <i>Capitellidae</i> (22.6)	軟: <i>Theora fragilis</i> (20.0)	
	節: <i>Ampelisca brevicornis</i> (3.7)	軟: <i>Nitidotellina</i> sp. (11.7)	環: <i>Pseudopolydora</i> sp. (16.1)	環: <i>Heteromastus</i> sp. (15.0)	

(備考) 節:節足動物、軟:軟体動物、環:環形動物

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-25(3) 底生生物出現状況 (夏季)

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		21	27	19	20
平均出現個体数 (個体/m ²)	紐形動物	0	10	0	0
	軟体動物	40	60	10	760
	星口動物	0	30	150	0
	環形動物	110	580	1,060	890
	節足動物	700	10	0	0
	棘皮動物	0	20	0	0
	脊索動物	10	0	0	0
	合計	860	710	1,220	1,650
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	節: <i>Ampelisca naikaiensis</i> (54.7)	環: <i>Capitellidae</i> (21.1)	環: <i>Capitellidae</i> (41.8)	軟: <i>Theora fragilis</i> (40.6)	
	節: <i>Ampelisca cyclops tyoensis</i> (10.5)	環: <i>Terebellides sp.</i> (19.7)	星: <i>Apionsoma sp.</i> (12.3)	環: <i>Scoletoma longifolia</i> (12.1)	
	環: <i>Myriochele oculata</i> (4.7) 節: <i>Ampelisca brevicornis</i> (4.7) 節: <i>Cyathura sp.</i> (4.7)	環: <i>Lumbrineris amboinensis</i> (7.0)	環: <i>Terebellides sp.</i> (9.8)	環: <i>Heteromastus sp.</i> (10.9)	

(備考) 節:節足動物、軟:軟体動物、環:環形動物、星:星口動物

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-25(4) 底生生物出現状況 (秋季)

調査地点		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
出現種類数(種)		28	14	18	8
平均出現個体数 (個体/m ²)	刺胞動物	10	0	0	0
	扁形動物	0	0	10	0
	紐形動物	40	0	0	0
	軟体動物	150	10	10	0
	星口動物	0	0	250	0
	環形動物	150	240	470	320
	節足動物	350	20	0	10
	棘皮動物	0	20	10	0
	脊索動物	0	0	10	0
合計	700	290	760	330	
主な出現種(上位3種) ()内は出現率(%)	軟: <i>Veremolpa scabra</i> (12.9)	環: <i>Terebellides sp.</i> (20.7)	星: <i>Apionsoma sp.</i> (32.9)	環: <i>Scoletoma longifolia</i> (36.4)	
	節: <i>Ampelisca naikaiensis</i> (11.4)	環: <i>Capitellidae</i> (13.8)	環: <i>Scoletoma longifolia</i> (15.8)	環: <i>Heteromastus sp.</i> (15.0)	
	環: <i>Paraprionospio patiens</i> (10.0)	環: <i>Lumbrineris amboinensis</i> (10.3) 環: <i>Trochochaeta japonica</i> (10.3)	環: <i>Nephtys sp.</i> (13.2)	環: <i>Tharyx sp.</i> (15.2)	

(備考) 節:節足動物、環:環形動物、星:星口動物、軟:軟体動物

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-26 重要種・外来種確認一覧 (底生生物)

No.	門名	綱名	目名	科名	和名	学名	種数												外来種											
							St.1			St.2			St.3			St.4			重要種			I	II	III						
							冬	春	夏	冬	春	夏	冬	春	夏	冬	春	夏	①	②	③	④	⑤	⑥						
1	軟体動物	腹足	新生腹足	ムシロガイ	ムシロガイ	<i>Nassarius lineatus</i>																								
2				カバガサ	シマカバガサ	<i>Crepidula onyx</i>																								
3		二枚貝	マルスマレガイ	ニッコウガイ	ウスアサガイ	<i>Nitidulima mimia</i>																								
4					モモハナガイ	<i>Maerella pediculus</i>																								
計	1門	2綱	2目	3科	4種		1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1		

注) 重要種及び外来種の選定基準は以下のとおりである。

【重要種の選定基準】

- ①「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)
特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物
- ②「静岡県文化財保護条例」(昭和 36 年、静岡県条例第 23 号)
- ③「絶滅のおそれのある野生動物種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号)
国内: 国内希少野生動物種、国際: 国際希少野生動物種
- ④「静岡県希少野生動物種保護条例」(平成 22 年、静岡県条例第 37 号)
県希: 静岡県希少野生動物種
- ⑤「環境省レッドリスト 2020(随時見直し評価種含む)」(令和 2 年、環境省)
EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥「まもりたい静岡県の野生生物 2019-改訂版静岡県レッドデータブック<動物編>」(令和元年、静岡県)

【外来種の選定基準】

- I 「特定外来生物による生態系に係る被害の防止に関する法律」(平成 27 年、環境省)
特定・国外緊急: 特定外来生物・国外由来総合対策外来種(緊急対策外来種)、
特定・国外重点: 特定外来生物・国外由来総合対策外来種(重点対策外来種)、国外・その他: 国外総合その他対策
- II 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)」(平成 27 年、環境省)
総合: 総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)
・一他: その他定着予防外来種
- III 「外来種ハンドブック」(平成 14 年、地人書館)に掲載された外来種
国外: 国外移入

資料: 「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

⑤ 砂浜生物

a. 現地調査

i. 調査概要

計画地及びその周辺の砂浜生物の生息状況を把握するため、現地調査を実施した。調査概要は表 2-9-27 に、調査地点は図 2-9-14 に示すとおりである。

表 2-9-27 砂浜生物調査の実施状況

調査項目	砂浜生物調査
調査時期	冬季：令和 2 年 1 月 30 日 春季：令和 2 年 4 月 21 日 夏季：令和 2 年 8 月 1 日 ～ 2 日 秋季：令和 2 年 10 月 1 日 ～ 3 日
調査地点	St. 8、St. 9
調査方法	平均水面付近に 0.3m 枠を置き、コドラート内の深さ 30cm までの砂を採取し、総個体を 5%ホルマリンで固定後、分析室で分析。(種の同定・計測・湿重量)

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

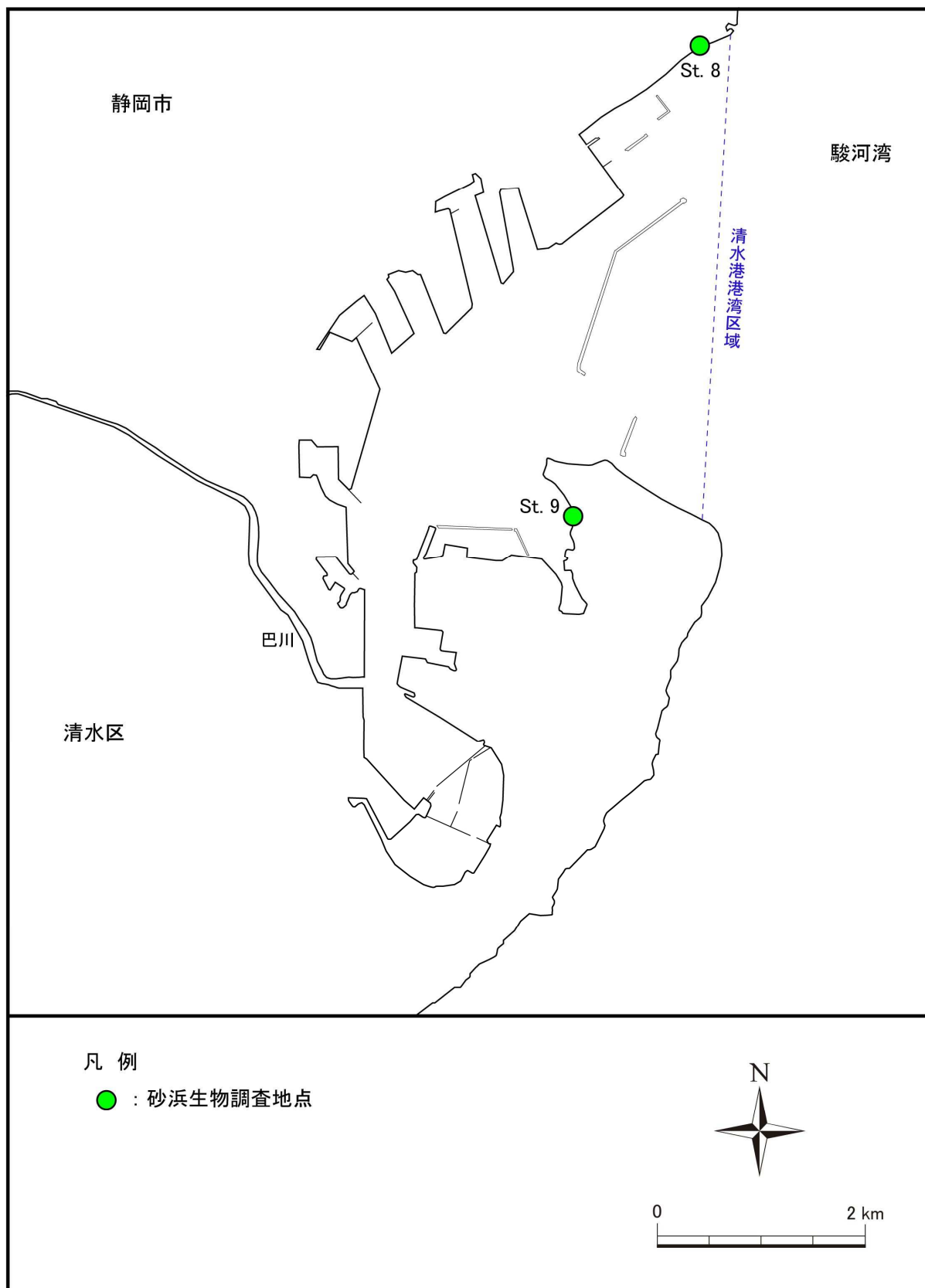


図 2-9-14 砂浜生物調査地点図

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

ii. 調査結果

砂浜生物の出現状況は表 2-9-28 に、外来種確認一覧は表 2-9-29 に示すとおりである。
 なお、重要種については確認されなかったが、外来種はタテジマフジツボの 1 種が確認された。

表 2-9-28(1) 砂浜生物出現状況 (冬季)

No.	門	綱	目	科	学名	和名	単位: 個体又はg/m ²			
							St.8		St.9	
							個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	紐形動物	無針	異紐虫	-	Heteronemertea	異紐虫目			8	0.20
2	軟体動物	二枚貝	イガイ	イガイ	<i>Brachidontes mutabilis</i>	ヒバリガイモドキ			4	0.58
3	環形動物	ゴカイ	サシバゴカイ	サシバゴカイ	Phyllodoctidae	サシバゴカイ科	4	+		
4				チロリ	<i>Hemipodia yenourensis</i>	ヒナサキチロリ			4	0.28
5				ノラウロコムシ	<i>Pisone crassa</i>	スナゴカイ	4	+	16	0.04
6				イシジマムカイゴカイ	イシジマムカイゴカイ	<i>Polygordius</i> sp.			204	0.22
7				ムカシゴカイ	ムカシゴカイ	<i>Saccocirrus</i> sp.			32	0.04
8	節足動物	顎脚	フジツボ	フジツボ	<i>Amphibalanus amphirite</i>	タテジマフジツボ			4	0.08
出現種類数							2		7	
個体数・湿重量合計							8	0.00	272	1.44

注) 湿重量の「+」は1m²当たり0.01g未満を示す。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-28(2) 砂浜生物出現状況 (春季)

No.	門	綱	目	科	学名	和名	単位: 個体又はg/m ²			
							St. 8		St. 9	
							個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	紐形動物	-	-	-	Nemertea	紐形動物門			28	0.04
2		無針	異紐虫	-	Heteronemertea	異紐虫目			12	0.16
3	軟体動物	二枚貝	マルスダレガイ	チドリマスオ	<i>Donacilla picta</i>	チドリマスオ			12	1.18
4	環形動物	ゴカイ	サシバゴカイ	サシバゴカイ	Phyllodoctidae	サシバゴカイ科	20	0.03		
5				ノラウロコムシ	<i>Pisone</i> sp.	-	4	+		
6				ムカシゴカイ	ムカシゴカイ	<i>Saccocirrus</i> sp.	-	368	0.45	
7	節足動物	軟甲	ヨコエビ	アゴナガヨコエビ	<i>Pontogeneia</i> sp.	アゴナガヨコエビ属			32	0.04
出現種類数							3		4	
個体数・湿重量合計							392	0.48	84	1.42

注) 湿重量の「+」は1m²当たり0.01g未満を示す。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-28(3) 砂浜生物出現状況 (夏季)

No.	門	綱	目	科	学名	和名	St. 8		St. 9		
							個体数	湿重量	個体数	湿重量	
1	紐形動物	-	-	-	Nemertea	紐形動物門			4	+	
2	軟体動物	二枚貝	マルスダレガイ	チドリマスオ	<i>Donacilla picta</i>	チドリマスオ			264	31.43	
3	環形動物	ゴカイ	サンバゴカイ	シリス	<i>Typosyllis</i> sp.	-			8	+	
							出現種類数	0	3		
							個体数・湿重量合計	0	0.00	276	31.43

注) 湿重量の「+」は1m²当たり0.01g未満を示す。

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-28(4) 砂浜生物出現状況 (秋季)

No.	門	綱	目	科	学名	和名	St. 8		St. 9		
							個体数	湿重量	個体数	湿重量	
1	環形動物	ゴカイ	サンバゴカイ	ゴカイ	<i>Nereididae</i>	ゴカイ科	4	+			
2			フサゴカイ	フサゴカイ	<i>Amphitruinae</i>	-	4	+			
							出現種類数	2	0		
							個体数・湿重量合計	8	0.00	0	0.00

注) 湿重量の「+」は1m²当たり0.01g未満を示す。

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-29 外来種確認一覧 (砂浜生物)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名		St. 8				St. 9				外来種			
					和名	学名	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	I	II	III	
1	節足動物	甲殻	完胸	フジツボ	タデジマフジツボ	<i>Balanus amphitrite</i>					●						総合-他(外)	国外
計	2門	2綱	1目	1科	1種	種数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1

注) 1. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

【外来種の選定基準】

I「特定外来生物による生態系に係る被害の防止に関する法律」(平成27年、環境省)

特定・国外緊急:特定外来生物・国外由来総合対策外来種(緊急対策外来種)、

特定・国外重点:特定外来生物・国外由来総合対策外来種(重点対策外来種)、国外・その他:国外総合その他対策

II「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(生態系被害防止外来種リスト)」(平成27年 環境省)

総合:総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)

・一他:その他定着予防外来種

III「外来種ハンドブック」(平成14年、地人書館)に掲載された外来種

国外:国外移入

資料:「令和元年度[第31-W1750-01号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査
(生態系)業務委託 報告書」(令和2年3月、静岡県清水港管理局)

「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和2年11月、静岡県清水港管理局)

⑥ 魚介類

a. 現地調査

i. 調査概要

計画地及びその周辺の魚介類の生息状況を把握するため、現地調査を実施した。調査概要は表 2-9-30 に、調査地点は図 2-9-15 に示すとおりである。

表 2-9-30 魚介類調査の実施状況

調査項目	魚介類調査
調査時期	冬季：令和 2 年 2 月 14 日 春季：令和 2 年 4 月 20 日 夏季：令和 2 年 8 月 1 日 秋季：令和 2 年 10 月 3 日
調査地点	St. 10
調査方法	シラス網を用いて魚介類を採取し、現地確認により同定を行った。また、同定が困難な個体については、ホルマリンで固定後、持ち帰り同定を行った。(種毎の個体数、全個体の全長、体長、湿重量)

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」
(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

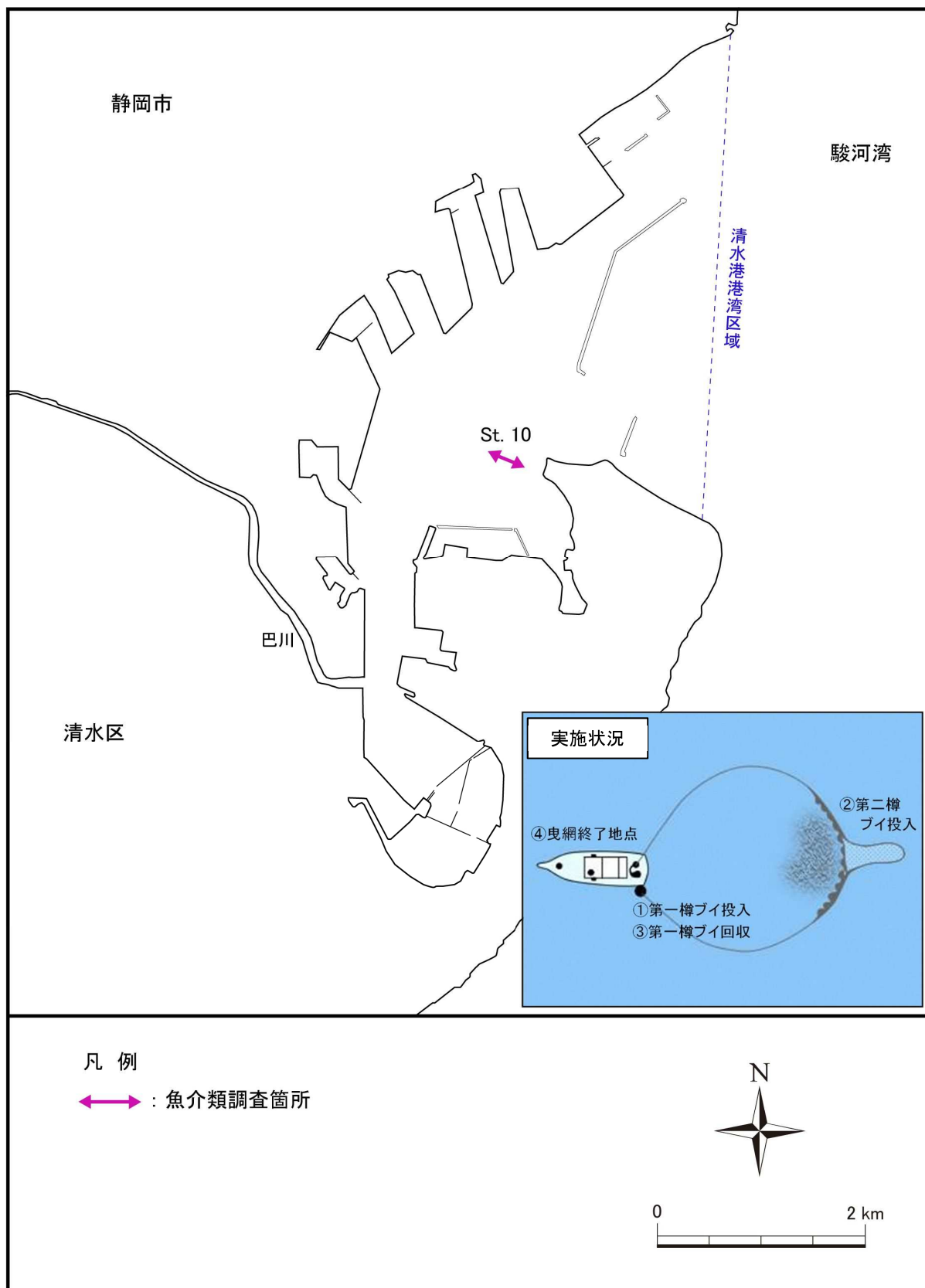


図 2-9-15 魚介類調査地点図

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

ii. 調査結果

魚介類の出現状況は表 2-9-31 に、重要種確認一覧は表 2-9-32 に示すとおりである。なお、重要種はシロウオの 1 種であり、外来種については確認されなかった。

表 2-9-31 魚介類出現状況

No.	目名	学名	和名	冬季		春季		夏季		秋季	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
1	ダンゴイカ	Sepioida	ダンゴイカ目			11	16.6				
2	十脚	Brachyura	短尾下目(メガロバ幼生)			7	1.4				
3	ニシン	<i>Sardinops melanostictus</i>	マイワシ	20,333	6,100.0	3	3.9				
4		<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイワシ			23	15.3			265	59.2
5		Clupeoidei	ニシン亜目(シラス)			19,645	2,401.1	555	294.5		
6		<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ								1
7	ウナギ	Anguilliformes	ウナギ目(レプトセファルス幼生)			598	610.7			6	3.8
8	ヒメ	<i>Saurida elongata</i>	トカゲエソ	1	70.0						
9		<i>Saurida umeyoshii</i>	クロエソ	4	14.0	2	22.2	11	339.0	8	89.5
10		<i>Trachinocephalus myops</i>	オキエソ			1	15.0				
11		Synodontidae	エソ科							26	2.6
12		トゲウオ	<i>Fistularia petimba</i>	アカヤガラ	1	38.3	1	35.4			69
13	ボラ	Mugilidae	ボラ科			8	3.2				
14	スズキ	<i>Chelidonichthys spinosus</i>	ホウボウ			2	43.0				
15		<i>Pagrus major</i>	マダイ			3	1,510.0	3	212.8	8	853.0
16		<i>Eynnys tumifrons</i>	チダイ					4	115.1	1	275.0
17		<i>Upeneus japonicus</i>	ヒメジ	1	30.0			2	101.0		
18		Gobiidae	ハゼ科	1	1.5	15	3.0				
19		Trichiuridae	タチウオ科			1	1.0			9	10.5
20		<i>Scomber</i> sp.	サバ属			19	20.3				
21		<i>Equilites rivulatus</i>	オキヒイラギ					2	13.6		
22		<i>Sphyræna</i> sp.	カマス属					1	81.0		
23		Perciformes	スズキ目					4	1.3		
24	<i>Dactyloptena orientalis</i>	セミホウボウ							1	149.0	
25	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ							1	1,077.0	
26	<i>Sillago japonica</i>	シロギス							14	57.1	
27	<i>Leucopsarion petersii</i>	シロウオ							218	8.9	
28	ツツイカ	Teuthoidea	ツツイカ目					2	73.1		
29	カレイ	Bothidae	ダルマガレイ科					2	23.1		
30	コウイカ	Sepiidae	コウイカ科							1	94.0
31	モミジガイ	<i>Astropecten scoparius</i>	モミジガイ							1	14.0
32	フグ	<i>Lagocephalus</i> sp.	サバフグ属							1	2.5
33	-	-	不明			1	0.4				
合計				20,341	6,253.8	20,340	4,702.5	586	1,254.5	630	3,256.4
種類数				6		15		10		16	

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-32 重要種確認一覧（魚介類）

No.	門名	綱名	目名	科名	種名		St. 10				重要種						外来種		
					和名	学名	冬季	春季	夏季	秋季	①	②	③	④	⑤	⑥	I	II	III
1	脊索動物	条鰭	スズキ	ハゼ	シロウオ	<i>Leucopsarion petersii</i>				●			VU			CR			
計	1門	2綱	1目	1科	1種	種数	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0

注) 重要種の選定基準は以下のとおりである。

【重要種の選定基準】

- ①「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)
特天:特別天然記念物、天:天然記念物
- ②「静岡県文化財保護条例」(昭和 36 年、静岡県条例第 23 号)
県天:県指定天然記念物
- ③「絶滅のおそれのある野生動植物種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号)
国内:国内希少野生動植物種、国際:国際希少野生動植物種
- ④「静岡県希少野生動植物保護条例」(平成 22 年、静岡県条例第 37 号)
県希:静岡県希少野生動植物
- ⑤「環境省レッドリスト 2020(随時見直し評価種含む)」(令和 2 年、環境省)
EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧 IA 類、EN:絶滅危惧 IB 類、VU:絶滅危惧 II 類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥「まもりたい静岡県の野生生物 2019-改訂版静岡県レッドデータブック<動物編>」(令和元年、静岡県)
EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧 IA 類、EN:絶滅危惧 IB 類、VU:絶滅危惧 II 類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群、N:要注目種、N-I:現状不明、N-II 分布上注目種等、N-III 都会注目種

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)